PlayStation

REBUS

REBUS
OFFICIAL
ART
BOOK

ATLUS

Prologue

P R O L



O G U E



13 ボーシャ・サンタムール
14 トロイ・リースリング
15 イル・ヴィーニャ・アラーナ
16 レブスの世界
20 カルティア
22 幻獣

神秘のアイテム"カルティア"と
幾多の争いの果てに訪れた平和によって、
世界はかつてない繁栄の時を迎えていた。
しかし、時の流れは"欲望"という芽を育み、
混沌の花が咲く時代が訪れようとしていた…。

T O X A



CLASSICO



トキサ・クラシコ

性別●男
年齢●18才
出身地●イドラス
職業●騎士

商人の息子として生まれながら英雄としての生きざまに憧れ、剣士を目指したトキサは、その優れた才能を持って18才で騎士として叙勲された。

しかし、仕えるべき主君は定めず、遠縁に当たるシノン伯のもとで居候としての生活を送っている。

性格はまだ子供であり、後先を省みない行動が多いのは、その恵まれた才能ゆえにいまだ大きな挫折を味わったことがないからであろう。



卓抜した剣の才能を持ち、
正義感に燃える若き正騎士

Mona Saladinart

MONASALADINART

運命の渦に翻弄される優しく可憐な奇跡の少女





モナ・サラディアート

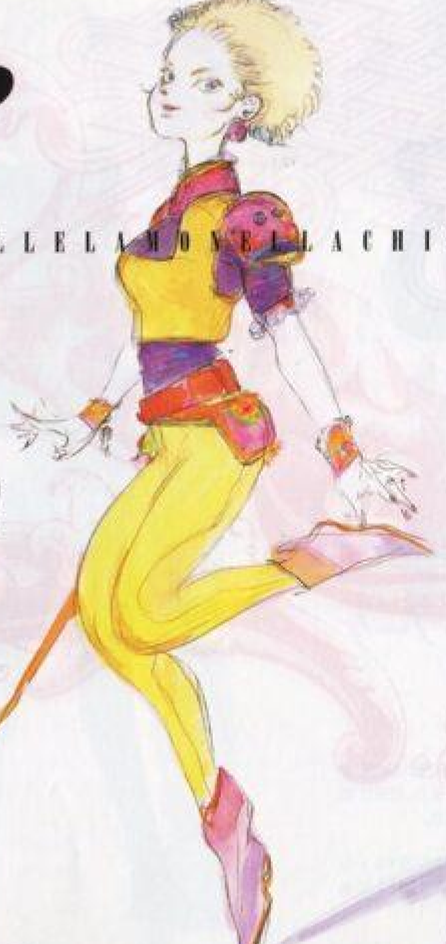
性別 ● 女
年齢 ● 16才
出身地 ● 不明
職業 ● ドルイド

謎の組織に神殿から誘拐された途中で、トキサに助けられたドルイドの少女。

大人しく従順な性格で、トキサに対して好意を抱いている。

自由奔放に生きたいと願う 世間知らずな伯爵令嬢

ELLELAMONELLACHINON





エレ・ラモネラ・シノン

性別 ● 女
年齢 ● 17才
出身地 ● イドラス
職業 ● なし（令嬢）

名門貴族の4女で、厳しい父のため剣もカルティアも一通り使えるが、世間知らず。

堅苦しい屋敷内の生活に退屈し、親が決める結婚に強い嫌悪感を持ち、密かに家を出る機会を狙っている。

DB

Dulang Bouquet

D U L A N G   B O U Q U E T

冷静な判断力のなかに、熱き情熱を秘めた神の戦士





デュラン・ブーケ

性別●男
年齢●20才
出身地●クロスランド
職業●神官戦士

静かな物腰に、冷静な判断力。剣、カルティアの実力にも優れ、周囲に頼りにされる大人の男性。

神官戦士として神殿を守護するかたわら、自警団の一員として社会に奉仕している。

悲しき運命に翻弄される愛に飢えた孤独な女剣士

M I S T Y R O U G E





ミスティ・ルージュ

性別 ● 女
年齢 ● 19才
出身地 ● イドラス
職業 ● 女剣士

ドルイドの少女モナを誘拐した謎の組織で、参謀補佐を勤めている女性。

過去の凄惨な体験から、深い人間不信に捕われている。



ラクリマ・クリスティ

性別 ● 女
年齢 ● 18才
出身地 ● クロスランド
職業 ● 神官戦士

英雄カイナスの娘として生まれ、両親の死と周囲の期待という重荷を背負った少女時代を文武ともに完璧にこなし、若くして神官戦士となった。

真面目で飾り気がなく教会の戒律を絶対とする彼女は、これ以上ないエリートとして周囲に大きく期待されている。

ただ、父親代わりの司祭長は彼女の張り詰めた生き方を気にかけ、心配している。

Lacryma



過酷な宿命を背負った聖女という名の戒律の守護者

Kun Vain

K U N V A I N

まっすぐな目で騎士を目指す
世間知らずな若き剣士





クーン・ヴァイン

性別●男
年齢●18才
出身地●ヴェスタ
職業●騎士見習い

叙任式を受けるため自警団にきた若き剣士。

生真面目で冗談の通じない熱血漢。

剣の腕は立つがカルティアは大の苦手。

Posya Saint-amour

POSYASAINT-AMOUR





強い意志に憧れを抱く純粋で善良な神の巫女

ポーシャ・サンタムール

性別● 女
年齢● 16才
出身地● クロスランド
職業● 巫女

剣を持つのがやっとの可憐な少女で、戦闘はほとんどダメ。

もっと強くなるために努力してはいるが、自警団では治療士か雑用役として働いている。

T R O Y R I E S L I N G

Troy Riesling

ひねた態度で天才を自負する
自警団きっての毒舌家





トロイ・リースリング

性別 ● 男
年齢 ● 18才
出身地 ● クロスランド
職業 ● 文法士

カルディアを自在に使いこなす優秀な文法士。根は良い人物だが、ひねたしゃべり方で誤解されることが多い。

資格を取り"ハク"をつけるため自警団で働いている。

強さと優しさを併せ持つ
明るく闊達な町の踊り子

I L V I G N A A R A N A





イル・ヴィーニャ・アラーナ

性別● 女
年齢● 18才
出身地● サランドラ
職業● 踊り子

町の酒場の踊り子兼自警団メンバー。

その華麗な踊り同様、華麗な剣術と鮮やかな法術で、自警団の主力を勤める。

明るい人柄で、皆に好かれる魅力的な女性。

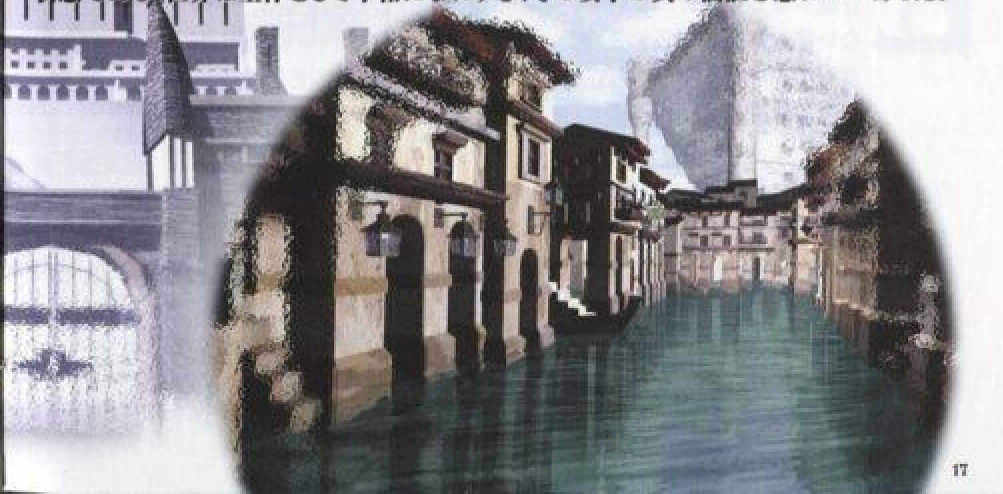
World
レブスの世界 国家編



レプスには、5つの大国と無数の小国が存在する。物語の中心となるのは中原のクロスランド、北方のノルディア、東方のイドラスの3つの大国である。
かつては世界の半分を支配し、世界制覇を狙うも敗れた中原の大国クロスランド。
陰謀と惨劇に彩られた、陰惨な歴史を持つ影の大国イドラス。
平和によって牙をなくしてしまった、北の軍事国家ノルディア。

W O R L D

平和が続く中、軍事的対立を緩やかにした3国であったが、同時に国家としての危機管理能力も衰退し、3国の国境線付近で発生した、盗賊くずれの反乱を鎮圧するにも手間取る状態である。世界は全体として平和になれすぎ、その安寧の真の価値を忘れつつあった。



レブスの世界 組織編



法王庁

レブスの世界では、宗教は1つしかなく、世界を作り出した唯一の神が存在すると考えられている。実体のない存在とされ、名称も“神”としかない絶対神を崇める**法王庁**は、宗教国家ペンタグラムを総本山として、世界中にその根を下ろしている。神の代弁者である法王を頂点として、神の奇跡たる世界樹を守る「**法務委員会**」、人々の心を癒し神の意志を世界に広める「**教義委員会**」、そして、戒律を破るものを非合法にでも処分する「**異端審問委員会**」の3つの委員会が存在し、さらにその下に、世界中の神殿や教会が広がっている。彼らのほとんどは、軍事的力を持たない聖職者であったが、それらの守り人として、戦いのエキスパートである「**神官戦士**」が各地に存在した。また、裏の世界では教義にすら縛られぬ、神の狩人「**異端審問官**」が密かに世界中に派遣されていると言われている。

文法院

レプスの世界で、その中心的存在であるカルティアを研究する学術集団が**文法院**である。
が、カルティアの無限に近い力ゆえに、彼らもまた規則によって、厳しく個々のカルティア学者「**文法士**」を管理している。
カルティアを研究対象としか考えない**文法院**は、**法王庁**とはあまり仲が良くなく、

S W O R L D

静かな対立関係を続けている。一方で、神殿でしかカルティアの材料を作ることができないために協力体制を取るという矛盾点を抱え、内部的にも**過激派**と**穏健派**が激しく対立するという問題を抱えている。カルティアの研究者である**文法士**はこの世界の花形的職業であり、上級の資格の所有者ともなれば生涯にわたっての生活的安定が保証される。




K A R T I
Karta



カードに刻まれた文字の意味を理解し、その内容を立体的にイメージするだけで、そのイメージを現実のものにできる神秘の力、それがカルティアである。レプスの世界では、戦闘、病気の治療、あるいは料理や遊びに至るまで、すべてがカルティアを中心として行われており、その可能性は計り知れない。文字を組合わせて単語を作り出せば、さらに高度な利用が可能になるが、反面組合わせが複雑になるほど、正確なイメージも難しくなり、使いこなせるものが少なくなってくる。

神殿で製造するカードに文法士が文字を刻むことで1枚のカルティアが完成するが、神殿で製造するカードには、3種類の素材があり、その能力が大きく異なる。最も安価だが力が弱く、簡単な文字しか刻めないシルクのカルティア。値段はそこそこするが効果は強く、専門家が多用するミスリルのカルティア。大変高価で稀少性も高く、絶大な力を発揮する世界樹のカルティア。特に世界樹のカルティアは莫大な力を持つために世界樹を手にしたがる者が多く、近年では神殿が高額で苗木を分ける制度が広がっている。

カードに刻まれる文字は、そのほとんどが「**テクスト**」に記載されたもので、レプスの世界で一般的に使われる文字とはまったく異なる。
「**テクスト**」は遺跡などの地下に埋没していることが多く、各地で大規模な発掘が行われているが、1つ発見できれば大富豪になれるほど価値を秘めている。また、テクストには、神が直接創り出したといわれる「**オリジナル**」が付属していることも多く、その「**オリジナル**」は使い方によっては国をも揺るがすほどの力を発揮する。



Genju

G E N

近年、レブスの世界に急激な戦術の変化がおとづれた。その原因が、この幻獣である。幻獣は、通常の法術と違い、テクストに記された通りのイメージを抱かなければ呼び出すことができない。これは、かつて、この世界が神の楽園だったころに実在した動物のみが、人の手先として姿を現すのだという説が有力である。

ともあれ、3つの系統に大別される幻身の登場によって、1人が1つの部隊に匹敵する戦力を自在に操りはじめ、個対個の戦いの時代は幕を閉じ、幻獣を使う者同士の戦いが主流になっていく。

幻獣

幻獣は、〈コモン〉〈ドール〉〈シャドウ〉の３つの系統に区別されている。コモンは人間などの生物に近い幻獣で、他の幻獣に比べて知性があり、攻撃が的確なため、動きが単調なドールに強いが、威圧感に萎縮する所があり、精神の勝るシャドウは苦手である。

ドールは戦うための人形的な幻獣で、他の幻獣と比べて機械的で、どんな事態にも動じることがないため、防御力のもろいシャドウに強いが、動きが単調なため、知性の高いコモンは苦手とする。シャドウは意志力をそのまま形にしたような幻獣で、他の幻獣と比べて威圧感が強く、一種の凄みとも言うべきものを持つため、萎縮しやすいコモンに強いが、その分肉体的防御が薄いため、精神的に不感症であるドールを苦手とする。







SLPS 01343

ATLUS
株式会社アトラス